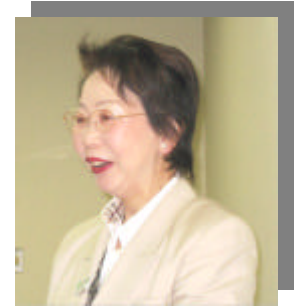


母子保健福祉担当者研修会
「市町村母子保健計画に活かす健やか親子 21 & 次世代育成支援」

2004年2月16日(月) in 栃木県

主催：栃木県県南健康福祉センター

1. 県南健康福祉センター木塚課長様ご挨拶 (9:30~)
2. 山縣挨拶 班員紹介
3. 「健やか親子 21」と「次世代育成支援対策推進法」についてプレゼン (山縣)(9:40~)



・学習目標

一般目標

母子保健事業の評価をして再構築ができる。

行動目標

1. 母子保健事業の評価の必要性が説明できる。
2. 評価項目が列挙できる。
3. 総合評価ができる。
4. 再構築に必要な事項が列挙できる。
5. 事業の優先順位がつけられる。
6. 事業の再構築ができる。



4. ディスカッション (11:10~)

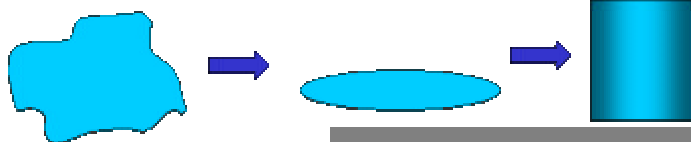
Ice Breaking 「保健師になって感動したこと！」
氷を溶かす また、固める (違った形)

課題：

1. 保健師になってよかったと思ったことや保健活動をしてきて感動したことを1-2個挙げましょう。

時間は15分

発表は1グループ1分



1G 発表

自分自身を認識することに役立った。

保健師の知識があったので比較的子育てがうまくいった。

地区活動ができて、大変だったが充実感があった。

生きていくうえで、いろんなことを参考にできた。

不登校の子が行けるようになり親から感謝された時。

子どもの成長が親より先に見られることで成長に携われたという実感。

感動したこと

良かったこと

2G 発表

いろんな人と接することができる。

子育てマップの作成・アンケート調査の結果から、町民からの保健師への評価が高かった。

就職したばかりでも町の母親達が受け入れてくれた。

家庭訪問に行きやすい。フットワークが軽い。行政職では何か事がないと動けない。

個人の名前をあげて母親たちから評価された。

なぜ、事業評価をする必要があるか？（11：50～12：25）

実施報告（上司への報告）

目的の達成は？

継続の必要性は？

改善の余地は？

住民への説明

新たな事業の基礎資料

1G 発表



- ・ その事業が目的を達することができたかどうか確認するため。
- ・ 実施方法や計画内容がニーズに合っているか検討する。
- ・ 受容と供給が整合しているかどうかの検討・確認・修正

- ・ 質の向上
- ・ 実施したことをやりっぱなしにせず、改善して新たに実施するため。
- ・ 事業を繰り返す上で、より良いものにするため。
- ・ マンネリ化しないために。
- ・ 事業をやった側のやり方を見直すため。
- ・ 事故満足で終わらないために。

- ・ 新しいニーズ・課題の抽出と検索。
- ・ 住民にとって良いサービスであるために。

- ・ 他人に理解してもらうために。

- ・ 公費（税金）で行なっているから。

2G 発表

- ・ 目的や目標が達成できたかどうかをみるため。
 - ・ 事業の効果をみるため。
 - ・ 事業の目的・目標などが達成されたか確認するため。
 - ・ 効果をできるだけ得るため。
- 具体的
- ・ 対象者が満足しているかどうか。
 - ・ やる側と受ける側の求めるもののズレを知る。
 - ・ 事業が対象者に対して内容・スタッフ・実施日等が適していたか？
 - ・ 内容をよりよいものにするため（やる側・受ける側にとって）。
 - ・ 現状に即して行なわれているかを判断するため。
 - ・ 事業の実施を自己満足に終わらせるものではなく、住民のニーズに合致したものに移行していくため。



- ・ 予算の獲得。
- ・ 次年度の予算獲得のため。
- ・ 事業を効率的（少ない人・少ないお金等）で、行うため。

- ・ 次に事業を行なう時の指標、見直すために必要。
- ・ 次の計画に今回の反省点を生かすため。
- ・ 目標とした指標の達成状況を確認して予定通りに進んでいる場合、その理由を校正する必要があるため。
- ・ 合理的な事業の見直しを行なうため。
- ・ 事業の問題点を考えながら事業展開をしていくため。

今やっている母子保健事業を列挙してみましょ。
 その中で少子化対策とそうでないものに分類してみましょ。

1G

少子化対策

- ・ 乳幼児医療費助成

母子保健事業

- ・ 母子手帳の交付
- ・ 予防接種（各種）
- ・ 母親学級（両親）
- ・ ベビーサークル
- ・ 妊産婦健康診査
- ・ 発達相談 ネットワーク
- ・ 小、中学生に対する性教育
- ・ 不妊相談
- ・ 乳幼児健診と事後指導
- ・ サマースクール
- ・ 妊婦教室
- ・ 育児教室
- ・ 乳幼児 2 次検診
- ・ 思春期ピアカウンセリング ネットワーク
- ・ 親子教室（発達相談対象児）
- ・ 思春期の性教育（中学校 小学校 養護学校）



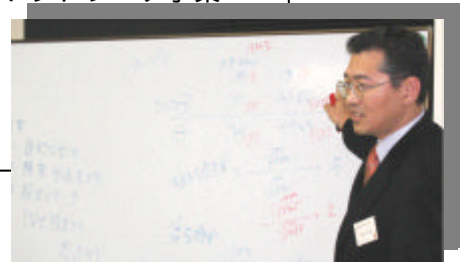
2G

少子化対策

- ・ 不妊 遺伝相談

母子保健事業

- ・ 妊婦検診 医療機関委託前期 1 回後期 1 回
- ・ 母親学級（L1～L3）× 5 回
- ・ 妊婦訪問
- ・ 総合養育支援対策事業 家庭訪問 グループ支援 台帳整理
- ・ 家庭訪問 電話相談 面接
- ・ 予防接種（ポリオ ツ反 BCG）
- ・ 乳児訪問
- ・ 乳幼児健全育成事業 発達相談 親子教室 発達支援ネットワーク事業
- ・ 子育て応援マップ 作成 配布
- ・ 子育てサロン「なかよしクラブ」
- ・ 乳幼児健診 ・ 親子教室（育児教室）



今やっている母子保健事業を列挙してみましょう。
 その中で、少子化対策とそうでないものに分類してみましょう。
 少子化対策はなぜしなければならないのか？
 少子化対策事業のポイントは？

少子化対策について、現在国で進めている対策は0を1にするのか？1を2にするのか？

- ・ 0を選択していることと、1であることとに根本的な違いがある。
- ・ 0を選択している場合は関わるのが難しい。よって1から2にすることが大きい。
- ・ 事業として行なうのは難しい。
- ・ 予算的にも難しい。
- ・ 0や1の選択もある背景に環境や深い因子が隠されているようにも思う。

山縣：少子化対策を分けずに、全て母子保健事業に含めて考えた方が良い。

0から1にする対策は国が作るものではないと思っている。

生みたいと思っている人が生める環境をつくるのが大切なのである。

生めない人にプレッシャーを与えないことが大切。

次世代育成の行動計画は、母子保健事業が入っているため、今が良いチャンスなのである。

ねらい別 前提要因

住民が健康行動の前提となる知識、技術を身につけ、動機を高める。

実現要因

住民が健康を実現するために行動できる機会や環境を提供する。

強化要因

住民が健康のために積極的な行動を強化・継続できるように支援する。

優先順位を決める二次元展開法

- ・ 緊急度とは？
生命の危機
指示
- ・ 重要度とは？
対象が多い

緊急度

重要度

根拠はなにか（法律 住民のニーズ）
 グループに分けられるか(まとめられるか)
 優先順位は
 重要度
 緊急度
 解決可能性

取り組みのデータベース研修会（14：40～）

「取り組みのDB」概要の説明（葉袋）

「検索の実践」（山田）

- 1．目的をたてる
- 2．検索方法をメモ
- 3．役立つデータ（なぜ役立つと思ったか）



上川町 「虐待」「子育て支援」で 240 件「虐待防止ネットワーク」17 件
具体的に内容がつかめたことが今後の参考となる。

藤岡町 「思春期」700 件

自分の町と比較する点良かった。人口や出生数において。

【検索のポイント】

タイトル・キーワード

目的が明確か

目標値の設定

住民参加の有無

他機関との連携

トレンド

地域特性



【事例の検討】

事例 1：簡単すぎて分かりにくい

事例 2：ぱっとみた段階でとらえるのは難しい

事例 3：ポイントを絞っていて分かり易い

数値目標があると良い。



【事業内容登録の実践】

HP の説明（山縣 16：05～）

感想（16：15～）

- ・ HP の活用がわかってよかった。
- ・ 常に情報しか見ないが活用法が分かった。
- ・ IE が個人で見れるようになった。
- ・ HP 初めて知って勉強になった。
- ・ 次世代と母子保健と健やかをどう活用していいのかわからなくて戸惑うことがあり参加した。この研修会を生かしたい。
- ・ 欠席した市町村には伝えていきたい。
- ・ 常に HP 活用している。
- ・ 次世代、健やかとも分かり易かった。



大変有意義な研修会を行うことができました。
皆様のご活躍をお祈りいたします。

山梨大学医学部保健学 講座 山縣然太郎